

令和元年度

公益社団法人群馬県歯科技工士会生涯研修

(自由研修過程)

日時 令和元年 **12月15日** (日) 10:00~13:30 (受付9:30~)

会場 群馬県公社総合ビル 群馬県前橋市大渡町 1-10-7 TEL 027-255-1166

講演 1

演題：『顎口腔機能学』をわかりやすく！

～これからの歯科技工に求められていること～

講師：日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科補綴学第1講座

日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学 主任教授

小出 馨 先生



講演 2

演題：『咬合器設定のちがいによる臨床例』

講師：公益社団法人 日本歯科技工士会 副会長 森野 隆 先生



【対象】 歯科技工士・歯科医療関係者・学生及び一般

【受講費】 無料

【お申し込み】 下記生涯研修参加申込書をご記入の上、令和元年12月6日(金)までに
FAXまたはメールにてお申し込みください

【お問合せ先】 (公社)群馬県歯科技工士会事務所 前橋市江田町 593-1 2-D

mail: gun-gi@bay.wind.ne.jp TEL: 027-254-4341 FAX: 027-254-4327

【後援】 厚生労働省 公益社団法人日本歯科技工士会

生涯研修参加申込書

群馬県歯科技工士会 FAX 027-254-4327

ふりがな
お名前

会員 会員外

歯科技工士 歯科医師 歯科衛生士 その他 ()

【ご連絡先】 勤務先 自宅

電話番号 () FAX番号 ()

e-mail @

【ご住所】 〒 -



日技指定研修「顎口腔機能学」 企画主旨

1989年（平成元年）の全国歯科技工士教育協議会において、教育内容、年限、養成者数などの検討が始まり、1992年12月（平成4年）に「歯科技工士養成所指定規則」が改定され、歯科技工士教育の教授要綱が改められた。その中で新科目の設置が行われ、新たに登場した学科目が「顎口腔機能学」である。この新学科目には2つのポイントがあり、1つはそれまで「歯冠修復技工学」と「有床歯科技工学」の『下顎運動と咬合器』の章でそれぞれ学んでいたものを統一・整理し、「咬合の知識・咬合器の取り扱い」として示した。もう1つは顎口腔系の解剖学・生理学が歯科技工士教育に取り入れられたことである。

全国での教育開始時期に差はあるが、概ね43歳が境になる。つまり43歳以上の方々は養成所、教育機関において履修科目に入っていなかったことになる。平成28年の厚生労働省「保健衛生行政業務報告」でみると、就業歯科技工士の約7割以上の歯科技工士がこの年代であり、上記の分野に関しては履修していないのである。

そこで日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座主任教授 小出馨教授に監修していただき、同大学講師の小出勝義先生に「日本歯技」サイエンスで2回にわたり“「顎口腔機能学」をわかりやすく！”の執筆をお願いした。この章をテキストとして「日技指定研修」の講演を依頼し、実施に至った。多くの会員皆様が参加して下さい、明日からの臨床に役立てていただければ幸いである。

公益社団法人日本歯科技工士会 副会長：森野 隆

※昼食休憩はありません

日技会員は生涯研修当日「歯科技工士生涯研修カード」の持参をお願いします